

第 15 回 PharmaScience フォーラム

「二つのトランスレーショナル研究： 基礎研究から患者の手元へ」

日時： 9 月 22 日(月)13:00～17:00

場所： 北海道大学薬学部臨床薬学講義室(札幌市北 12 条西 6 丁目)

医療の最大のミッションのひとつは、最新の研究の果実を、できるだけ速く、安全に、必要な人へのみ、安価に、患者・国民の手元に届けることである。このミッションを達成するためには基礎医学・薬学研究と臨床を結ぶ「トランスレーショナル研究 1(T1)」に加え、T1 で得られた知見に関して診療現場でエビデンスを構築し、診療実践へ浸透させるための「トランスレーショナル研究 2 (T2)」が必須である。このシンポジウムでは T1,T2 それぞれのご専門の先生の講演を通じ、2 つのトランスレーショナル研究の融合が重要であることについて知っていただきたい。

--プログラム--

座長： 井関 健(北海道大学大学院薬学研究院) 渡部一宏(聖路加国際病院薬剤部)

13:00 開会のあいさつ 井関 健(北海道大学大学院薬学研究院)

13:05-13:40

Nanomedicineへの貢献～多機能性エンベロップ型ナノ構造体による遺伝子デリバリー～
原島秀吉(北海道大学大学院薬学研究院)

13:40-14:15

消化管疾患診療の現状と治療薬開発への取り組み
武田宏司(北海道大学大学院薬学研究院)

-- 休憩 --

14:25-15:00

第二のトランスレーショナル・リサーチの推進のために
福原俊一(京都大学医学研究科医療疫学)

15:00-15:35

薬学の立場から
網岡克雄(金城学院大学薬学部)

15:35-16:10

基礎研究から患者の手元までの研究政策(仮)
井本昌克(厚生労働省医政局研究開発振興課)

-- 休憩 --

16:20-17:00 パネルディスカッション

入場無料

主催： 北海道大学大学院薬学研究院

共催： 日本医療薬学会、厚生科学研究臨床研究基盤整備推進研究事業臨床研究フェローシップ構築に関する研究」 福原俊一班

連絡先： 北海道大学大学院薬学研究院 臨床薬剤学研究室 担当：平野 TEL:011-706-3235